

LIFEPLANNER'S NOTE

お時間のあるときに
私の携帯サイトを
ぜひご覧ください。
※一部の機種からは
ご覧になれません。



佐々木 元司

Motoshi Sasaki

トップ・オブ・ザ・エグゼクティブ ライフプランナー

名古屋ライフプランナーセンター第9支社
〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜1-1-10
アーバンネット名古屋ビル17F

Tel **052-955-7779**

Fax 052-955-7789

フリーダイヤル 0120-315265

e-mail motoshi_sasaki@sonylife.co.jp

URL <http://www.fpsasaki.jp>

1級ファイナンシャル・プランニング技能士
住宅ローンアドバイザー（住宅金融普及協会認定）
日本相続学会 会員

武田双雲さんは3歳の頃から書道家のお母さんに書道を教えてもらいはじめたそうですね。我が家の高校2年生の二女は中学校2年生から名古屋の書道家（坂野紅楓先生、久保山碧楓先生）に習い始めて、その才能を開花させつつあります。

みなさんご存知のとおり、私の字は見るに堪えないどころか、時折自分で読んでも判読不能なほどに「ミミズの這ったような文字」ですが（苦笑）、二女の書く文字は本当に綺麗なので、私の仕事場にも二枚ほど飾っています（親バカ）。

先生方からご指示いただいて専門的に練習しているのは近世明末から清初の中国に生きた傅山（ふざん）の書です。傅山は画家であり医業もしていたとの記述が残っていますが、その性格は生まれつき雄々しく、明から清へ動乱の時期に生きたことも相まって意志が強かったようです。

先生方も二女の頑固な性格を見抜いて、その書を学ぶように言われたのかもしれませんが（笑）。

書道と時期を前後して「ちはやふる」で有名になった百人一首の競技かるたもしています。憧れの近江神宮の全国大会にも出るなど「和」の感性が敏感な娘ですが、その感性を持ちながらじわじわと日本の外にも目を向け始めていて、高校在学中に長期の留学をしたいとも思っています。

私自身中学校の時に行かせてもらった2週間のアメリカ生活でまったく意識が変わったことを思い、当時1ドル200円以上！だった時代に大金を出してくれた亡き両親には今でもとても感謝していますし、その想いが娘たちに継がれていくのなら両親もとても喜んでくれていると想像しています。

日本の文化伝統を根っこにしっかりと持ちながら日本人の誇りを忘れずに日本を飛び出して国際交流をしてくれて、少しでも日本の役に立つような存在になってくれたらうれしいと感じています。

<直通フリーダイヤル>

0120-315265 (サイコーニローゴ)

<ホームページ> <http://www.fpsasaki.jp>

